

「電話ですよ」——動作行為の主体と対象

名詞 (nouns) は動詞 (verbs)・形容詞 (adjectives) などと並んで最も代表的な品詞 (parts of speech) / 語類 (word classes) の一つです。名詞は意味的／概念的には「人やモノを表す語」であると特徴づけられましたが、名詞は人やモノ以外に「コト」を表す場合もあり、そのような場合の一つが動作や行為を表す動作行為名詞 (action nouns) です。英語にはさまざまな動作行為名詞がありますが、その多くはそれと意味的に関連づけられる動詞があります。その場合、動作行為名詞はその動詞に接尾辞が付加されて派生されたものもあれば、その動詞とまったく同じ形をしたものもあります。次の(1)(2)はそれぞれ前者・後者の例です：

- (1) argument (口論)——argue (口論する), discussion (討論)——discuss (討論する),
examination / exam (検査 / 試験)——examine (検査する / 試験する)
(2) walk (歩くこと)——walk (歩く), stay (滞在 / 宿泊)——stay (滞在する / 宿泊する),
call (電話すること)——call (電話する), help (助けること / 援助)——help (助ける / 援助する)

これらの動作行為名詞はその他一般の名詞と同様、主語・目的語など文の中のいろいろな位置に現れますが、その一つの用法として他動詞の目的語 (の主要部) として用いられる場合があります。次の諸例を参照：

- (3) have an argument, have a discussion, take an exam, have a walk, take a walk,
have a (good) stay, make a call, have a call, give a sigh, need help

これらの V+(a)+AN (AN=action noun) の形の表現について注意すべきことは、「AN が表す動作行為」と「V の主語」との関係は一つではないということです。たとえば(3)で have an argument の場合だと、argument (=AN) が表す行為の主体 (=口論する人) は have (=V) の主語と同じ人ですが、take an exam の場合は exam (=AN) が表す行為の主体 (=試験を課す人) は take (=V) の主語と同じではなく、その行為の対象 (=試験を課される[受ける]人) が V の主語になっています。すなわち V+(a)+AN においては、「AN が表す動作行為」と「V の主語」との関係に関して次の二つの場合があるということです：

- (4) a) V の主語が、AN が表す動作行為の主体と一致する
b) V の主語が、AN が表す動作行為の対象と一致する

(3)の各例をこの a) b)のどちらに該当するかによって分類すると次のようになります：

- (5) a)に該当——have an argument, have a discussion, have a walk, take a walk, have a (good) stay,
make a call, give a sigh
b)に該当——take an exam, have a call, need help

この a)の場合、AN と関連づけられる動詞を用いて表現しても実際に表される意味の関係には重大な違いは生じません。たとえば have an argument は単に argue と表現しても大きな違いはありません (したがってこのような場合、a) の表現の動詞は「軽他動詞 (light transitive verbs (意味の軽い他動詞))」と呼ばれることがあります (cf. Berk 1999: 31))。これに対して b)の場合は、V+(a)+AN を AN と関連づけられる動詞で置き換えると表される意味の関係が変わってきます。たとえば b)の have a call は「電話がかかってくる[かかっている]」ということですが、動詞 call は「・・・に電話する／電話をかける」ということであり、表される意味の関係が逆になります。‘You have a call’ と言えば「あなたに電話がかかっていますよ、電話ですよ」の意味の決まり文句です。a) b)に該当する他の例を以下に補っておきます (cf. Berk 1999: 31)：

- (6) a)——have a fight, have a chat, have a look (at ...), take a swim, take a drink of water
b)——have a visit (from ...), take a test, take a survey, take a challenge to+Inf.

(6)の例は a) b)ともに動詞 V はすべて have または take です。このように、同じ動詞 have, take でも後に来る AN の種類によって a)と b)の両方の場合があることに注意が必要です。たとえば a)の take a swim は「ひと泳ぎする」という意味ですが、b)の take a survey は「(人が行なう) 調査に応じる、アンケートに答える」という意味になります。次の(7)はこの take a survey の実例です：

- (7) Recently we asked our readers to take a survey and answer a few questions such as ...
<http://beforeitsnews.com/gold-and-precious-metals/2014/04/the-day-is-close-at-hand-2585320.html>

最後にクイズです。次の V+(a)+AN の形の表現は a) b)のどちらに該当するか考えてみてください：

- (8) have a shock, express surprise, offer help, claim unfair treatment, complain of harassment,
face a criminal charge, stand a trial, suffer humiliation, resist temptation